

『演習 保育内容 人間関係—基礎的事項の理解と指導法—』モデルカリキュラム対応表

モデルカリキュラム「幼児と人間関係」における到達目標と本書の対応項目

＜全体目標＞

当該科目では、領域「人間関係」の指導の基盤となる、幼児の人と関わる力の育ちに関する専門的事項についての知識を身に付ける。

(1) 幼児と人間関係における現代的課題	
＜一般目標＞	
幼児を取り巻く人間関係をめぐる現代的課題を理解する。	
＜到達目標＞	本書の対応章
1) 幼児を取り巻く人間関係の現代的特徴とその社会的背景を理解している。	第1章
2) 人と関わる力の育ちがその後続く一人一人の人生を支える力となることを理解している。	第2章
(2) 幼児期の発達と領域「人間関係」	
＜一般目標＞	
幼児期の人間関係の発達について、幼稚園生活における関係発達論的視点から理解する。	
＜到達目標＞	本書の対応章
1) 乳児期に育つ人と関わる力の発達について、身近な大人との関係から説明できる。	第4～6章
2) 幼児期の遊びや生活の中で育つ人と関わる力の発達について、教師との関係、幼児との関係、集団の中での育ちを観点として説明できる。	第7～10章
3) 自立心の育ちについて、発達の姿と合わせて説明できる。	第7～10章
4) 協同性の育ちについて、発達の姿と合わせて説明できる。	第7～10章
5) 道徳性・規範意識の芽生えについて、発達の姿と合わせて説明できる。	第7～10章
6) 家族や地域との関わりと育ちについて、発達の姿と合わせて説明できる。	第11・14章

## モデルカリキュラム「保育内容「人間関係」の指導法」における到達目標と本書の対応項目

### <全体目標>

領域「人間関係」は、「他の人々と親しみ、支え合って生活するために、自立心を育て、人と関わる力を養う」ことを目指すものである。幼稚園教育において育みたい資質能力について理解し、幼稚園教育要領に示された領域「人間関係」のねらい及び内容について背景となる専門領域と関連させて理解を深め、幼児の発達に即して、主体的・対話的で深い学びが実現する過程を踏まえて具体的な指導場面を想定して保育を構想し実践する方法を身に付ける。

(1) 領域「人間関係」のねらい及び内容	
<一般目標>	
幼稚園教育要領に示された幼稚園教育の基本を踏まえ、領域「人間関係」のねらい及び内容を理解する。	
<到達目標>	本書の対応章
1) 幼稚園教育要領における幼稚園教育の基本、領域「人間関係」のねらい及び内容並びに全体構造を理解している。	第3章
2) 領域「人間関係」のねらい及び内容を踏まえ、自立心を育て、人と関わる力を養うために必要な、幼児が経験し身に付けていく内容と指導上の留意点を理解している。	第5～13章
3) 幼稚園教育における評価の考え方を理解している。	第3・15章
4) 幼児期の集団生活を通して様々な人と関わる経験と、小学校以降の生活や教科等とのつながりについて理解している。	第9・14・15章
(2) 領域「人間関係」の指導方法及び保育の構想	
<一般目標>	
幼児の発達や学びの過程を理解し、領域「人間関係」に関わる具体的な指導場面を想定した保育を構想する方法を身に付ける。	
<到達目標>	本書の対応章
1) 幼児の心情、認識、思考及び動き等を踏まえた教材研究や環境の重要性を理解し、保育構想に活用することができる。	第3・15章
2) 領域「人間関係」の特性及び幼児の体験との関連を考慮した教材の効果的な活用法を理解し、保育構想に活用することができる。また、情報機器について、幼児の体験との関連を考慮しながら活用するなど留意点を理解している。	第15章
3) 指導案の構造を理解し、具体的な保育を想定した指導案を作成することができる。	第15章
4) 模擬保育やロールプレイとその振り返りを通して、保育を改善する視点を身に付けている。	第15章
5) 領域「人間関係」の特性に応じた現代的課題や保育実践の動向を知り、保育構想の向上に取り組むことができる。	第1・11・14・15章